

100
周年

ハリハリタイムズ

2022 年新年号 Vol.49

株式会社 則武工務店 ☎ 03-3531-6311



新年明けましておめでとうございます。
まだしばらくコロナ共存生活が続くそうですね。
今年もノリノリタイムズをお届けしていきますので、
どうぞ宜しくお願いいたします。

おかげさまで 100 周年

弊社は、大正 11 年（1922 年）1 月 16 日に創業し、今年で 100 周年を迎えることができました。
これもひとえにお客様をはじめ地域の皆様、協力会社の皆様のご指導・ご支援の賜物と厚く感謝いたしております。

一説によると、会社が 100 年続く確率は 1% 以下と言われています。

祖父から 3 代に渡って工務店を続けてこられたのは、地域活動を通して培った“地元の皆様とのつながり”が大きな支えとなっているからだと思います。そして小さな信用を積み重ね、基盤を築いてまいりました。

新型コロナウイルスの影響を受けながらも、仕事の依頼をいただき、働くことができることに感謝をし、今後も社員一丸となって皆様のご愛顧にお応えしていく所存でございます。今後とも、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



寒い冬でもぽかぽか高気密・高断熱住宅

高気密・高断熱住宅って？



- 住宅情報誌などでよく目にする「高気密・高断熱住宅」という言葉ですが、そのメリットをご存知でしょうか？
- 高気密・高断熱住宅とは、外気に影響を受けない断熱性の高い窓や断熱材を使用し、かつ隙間の少ない気密性に優れたつくりの家のことです。
- 気密性に優れた家は、住宅の隙間をなくして室内の空気を住宅内に閉じ込めることができるため、室内の温度コントロールが容易になり、季節に関わらず快適に過ごすことができます。
- また断熱性の高い家は、低い家に比べて同じ室温でも体感温度が大きく変わります。

床や壁、天井などの温度変化を断熱材が防いでいるため、外気の影響を受けず、冬場でも体感として温かく感じられるのです。
そのため、エアコンや暖房器具を使う頻度や台数が減るなど省エネにも繋がります。

高気密・高断熱であることによって、家中が暖かく、部屋ごとに温度差が出にくいことが大きなメリットです。

冬場に好発するヒートショック

寒い冬場に、急な温度変化によって引き起こされるという「ヒートショック」。

実は、交通事故による死亡者よりヒートショックで亡くなる方のほうが多いとも言われています。

暖かい部屋と寒い場所を移動する中で、温度変化により血圧が急激に上下して心臓や血管に負担をかけ、場合によっては心筋梗塞や脳梗塞が起こることもあります。

特に危険な場所は、温度差が 10℃ 以上あるお風呂やトイレと言われており、予防する方法として、脱衣室や浴室を暖めて急な温度変化を軽減させたり、お風呂の温度は低めに設定するなどの対策が大切です。

また、住宅購入やリフォーム時に、ヒートショック対策として高気密・高断熱のつくりで部屋ごとの温度差が出にくい住まいにするのも有効な手段です。



昨今問題になっている「食品ロス」について皆さんはどのくらいご存知でしょうか。
「食品ロス」とは、本来まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品のことを言います。

日本では、この食品ロスの量が年間約 570t も出ており（令和元年度推計値）、そのうち、各家庭から発生している食品ロスは、約 46% の 261t にものぼります。
これは、世界中で飢餓に苦しむ人々への食料援助量（2020 年で年間約 420 万トン）の 1.4 倍量に相当します。食品ロスを国民 1 人当たりで換算すると、毎日お茶碗約 1 杯分（約 124g）の食べ物が捨てられているということです。



国民一人当たりの
食品ロス量

一日約 124g

※およそお茶碗一杯分

年間約 45kg

※およそ 1 人当たりの
年間米消費量



食品ロスが大量に発生することで、様々な問題が起こります。

食品ロスを含めた多くのごみを廃棄するには、多額のコストがかかったり、可燃ゴミは燃やすことで、CO2 排出や焼却後の灰の埋め立てなど環境に与える負荷が重くのしかかります。

食品ロスを減らすためにできること

では、食品ロスを削減するために各家庭でできることは何があるのでしょうか？

■買い物の時

- ・買い物の前に冷蔵庫を確認して、食材の重複を避ける。
- ・スーパーではすぐに食べるものは棚の手前（てまえどり）から購入する。
- ・必要な分だけ買い、最後まで食べきる。

■調理や食事の時

- ・保存方法に従って適切な保存をし、食材を長持ちさせる。
- ・食材は残っている物から使い、食べきれぬ量を作る。
- ・作り過ぎて残った料理は、リメイクレシピなどを活用して食べきる。

現在、国も食品ロス削減の取り組みを進めており、その量は少しずつ減ってきていますが、一人一人が意識して各家庭から出る食品ロスの削減を目指すことが大切です。



施工事例紹介

マンションのフルリノベーション

今回の現場は中古マンション一室のフルリノベーションです。

フルリノベーション（スケルトンリノベーション）とは間取りや内装、設備機器を全て解体撤去し、骨組みだけの状態にしてゼロから間取りなどを設計していく工事になります。キッチン、浴室などの位置も変更が可能です。ちなみに「リフォーム」とは、老朽化したものを修繕したり新しくする工事です。



Before

キッチン



← キッチン設置前

ここは築 40 年以上のマンションですが、その一室を、都会的な「シティライフ」をコンセプトにデザイナーが上質な設備機器や内装にこだわって設計。

キッチンや洗面台等は全てオーダーメイド、壁はクロスではなく塗り壁の左官仕上げ、ほとんどの照明機器は調光付きの間接照明を使用するなど、かなりの予算をかけてのリノベーションとなりました。

年末に工事が完了しており、現在この物件は販売中です。



創業 100 年の
株式会社 則武工務店

〒104-0054 東京都中央区勝どき 2 丁目 7 番 9 号

TEL : 03-3531-6311 FAX : 03-3531-3157

【HP】<https://www.noritake-con.com/>

編集後記

今年で 100 周年を迎え、支えてくださったお客様、業者の方々、ご協力いただいた全ての方々への感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます！本年もどうぞ宜しくお願い致します。

